◆◇◆ こんな場合は!? コア抜きQ&A ◆◇◆

Q．穿孔長が深い場合

A．有効穿孔長いっぱいになった時点で、一旦モーターを停止し、ガラを折って取り出した後、延長ロッドをジョイントして更に穿孔します。ガラが折れない場合は、チューブを使用して延長し、穿孔します。



Q．穿孔箇所が非常に狭い場合

A．機械を設置するスペースとして、最低でも500×300程度の施工面と600以上のバックスペースを確保願います。

Q．電源が100Vの場合

A．口径が160φ以上の場合・穿孔長が深い場合・高配筋の躯体に穿孔する場合等は100V電源ではパワー不足になります。
200V電源をダウントランスを用いて変圧し、パワーを上げて穿孔します。

Q．水を流せない場合

A．冷却水を使用しない、乾式のコアがあります。
湿式と比較するとかなり割高になりますので、最小限の範囲での施工をオススメします。

Q．鉄筋を切りたくない場合

A．鉄筋探査・レントゲン等であらかじめ躯体内部の配筋状況を確認しておいて下さい。
穿孔中に鉄筋に当たっても、すぐには気付かない場合もあります。

Q．アンカーを打ちたくない場合

A．穿孔面が凹凸やタイル面でなければ、吸盤ベースでポールを固定して穿孔できます。
手摺天端の場合は、巾180程度まではウマベースで躯体を挟み込む形でポールを固定できます。
小口径であれば、ハンドタイプでの穿孔も可能です。





Q．斜めに穿孔したい場合

A．角度ベースを使用して、斜めに穿孔します。45度程度までの対応が可能です。
多少の角度であれば、ベースの下にスペーサーをかまして調節します。



Q．スラブ貫通でガラが落下しそうな場合

A．天井高さが４m以内の範囲であれば、コアダウンシステムを用いて下のフロアーからガラを支えた状態で穿孔できます。
デッキ付スラブの場合は、貫通直前の寸止めも可能です。
いずれの場合も、下のフロアは人払いをお願いします。

Q．水抜き穴をスラブギリギリに穿孔する場合

A．モーター部分が接してしまいますので、スラブから50～60程離れたところが芯になります。110φ程度のバカ穴を穿孔するか、状況に応じて反対側から穿孔したりします。

ご注文・お問い合わせ等はこちらまで...
TEL:0120-07-1222 / FAX:0120-07-5585